



デンマーク生まれですが、母は日本人 レゴランドは私にとって 大きなチャレンジ

私はデンマークで生まれ育ちましたが、母は神戸出身の日本人です。小さいときから母の日本語を聞いて育ち、日本に興味を持って、東海大学に留学しました。留学は1年間でしたが、夕方は英語の先生、夜はバーテンダーのアルバイトなどをして、楽しい日々を過ごしました。卒業後、デンマークに帰って貿易会社で働きましたが、その後日本に移り札幌のデンマーク領事館で、貿易官としてデンマークの北海道ビジネスをサポートしたりしました。

レゴランドに関する私の最初のミッションは、親会社のマーリン・エンターテインメント社から依頼された、日本進出計画の実現です。準備を進め、名古屋市との間で正式合意にこぎ着けました。私のミッションは、そこでいったん終わりましたが、親会社から社長として経営に当たるよう要請されました。子供たちの笑顔のために頑張るこんな素晴らしいプロジェクトは、もう最後だと考え、私にとって大きなチャレンジですが引き受けました。

日本初のレゴランド 名古屋はベストチョイス

レゴランドジャパンは、平成29年4月にオープンしますが、レゴランドの屋外型テーマパークとしては日本初、アジアで2番目、世界で8番目の開園になります。名古屋を選んだ理由は、すでに東京には東京ディズニーリゾート、大阪にはUSJといった大きなテーマパークがあることも理由のひとつですが、それ以上に地域と一体になって取り組める環境があったからです。名古屋市が金城ふ頭をモノづくり文化の交流拠点に育てるプロジェクトに取り組んでおり、同じ目標に向かい協力しながら取り組んでいけると判断したからです。またレゴ

「家族の絆」をはぐくむテーマパークです レゴランドは「忘れられない思い出」を通し



LEGOLAND Japan 株式会社
代表取締役社長

Torben Jensenさん

トーベン・イェンセン／デンマーク生まれ。昭和62～63年に東海大学、平成4～8年にコペンハーゲン・ビジネススクール・経営管理大学院で学ぶ。平成8～12年、デンマーク領事館（札幌）貿易官。ヨーロッパ、アジアでセールスマネージャー、企業経営などを経て平成27年8月、LEGOLAND Japan株式会社の代表取締役社長に就任。



ことし4月、金城ふ頭にオープンするレゴランドのアトラクション

ランドは2歳から12歳の子供とその家族をターゲットに絞ったテーマパークですが、名古屋圏は家族の絆が深く、われわれのコンセプトにうまく当てはまります。

地域と協力しながら取り組む環境があり、コンセプトにも合い、さらに名古屋は日本の真ん中で商圏が広く、交通の便がよい。名古屋での開園はベストチョイスだと考えています。

名古屋を「訪れたい街」に

私たちの目標は、子供たちや家族にとって「忘れられない思い出」を作ることです。レゴランドには、40を超える乗り物、ショー、アトラクションがあり、家族で1日中楽しめる施設になります。レゴランドでの楽しい思い出を家族で語り合うことにより、絆をより深めることができます。またレゴブロックを使って車を作り、レースに参加することもできます。もし負けたりすると、なんで負けたのだろうと考え、そこから新しい工夫や創造が生まれるかもしれません。それは名古屋市がめざしているモノづくり文化を育てることにもつながります。

さらにホテル、行政など他のプレーヤーと協力しながら名古屋を「訪れたい街」「泊まりたい街」「人の集まる街」にしていきたいと思います。